

採決時傍聴に絞り請願へ

市民団体 福岡市議会委改善巡り

福岡市議会に委員会審査の改善を求める請願を出している市民団体「福岡・住環境を守る会」は5日、請願11項目のうち、採決時の傍聴のみを求める新たな請願を、他の2団体と共同提出することを明らかにした。

採決時の傍聴は、自民党以外の会派がおおむね賛成の意向であることから、同会は「継続審査ではいつ結論が出るかわからない。1項目に絞って採決を目指したい」として、新たな請願を決めた。月内の提出を目指して署名を集めている。

既に提出している請願は、常任委員会の採決を傍聴者の前で行うことや議事録に発言者名を記載することなど11項目を求めている。8月の請願審査では、最大会派の自民党が慎重姿勢を崩さず、会派の意見も項目ごとに分かれている。

読売新聞 2013年9月6日

福岡市議会会委改革遅れ

福岡市議会が、委員会審査における、採決時の傍聴を認めなかったり、議事録に発言者名を記載していなかったりしていることから、市民団体が改善を求める請願を提出した。今月、議会運営委員会で取り扱いを協議したが、最大会派の自民党が慎重姿勢を崩さず、継続審査となった。同市議会は、全国の政令市でも議会改革の遅れが指摘されている。（後田ひろえ）

請願を出したのは「福岡・住環境を守る会」（幸田雅弘代表）。2012年に同団体が公表した全国20政令市議会の情報公開度ランキングによると、資料持ち帰りの可否や委員会採決を傍聴できるかなど11項目を調べた結果、同市が最下位だった。

請願は▽常任委員会の採決を傍聴者の前で行う▽委員会議事録に発言者名を記載▽委員会議事録に委員別の賛否を記載▽委員会放映されるまでは録音を許可する――など11項目を求めている。

市議会事務局によると、委員会採決時の退席は慣例で、

議事録に発言者名を記載しないのは1965年頃以降で、それ以前は統一されていた。市議会は、議会改革について05年から断続的に協議しており、今年から委員会資料の持ち帰りを認めることや

決算・予算特別委員会のインターネット中継などが決まっている。

一方、今回の請願に対する審査では、委員会採決について「時代の流れから公開すべきだ」との意見の一方、自民党議員は「議論の途中であり、従来通りでいいのでは」とした。委員会議事録への発言者

名の記載も、同党が「委員会では本会議よりも自由に発言できる場であり、現状のままでもいい」との意見だった。公明党も慎重姿勢を示した。委員会の録音に関しても「加工される恐れがある」との意見が多く、採決時の委員別の賛否の公表も「検討課題が多い」との声が大勢を占めた。

「福岡・住環境を守る会」は、5年前にも同様の請願をしたが進展がなかったため、他の政令市を調査した。事務局長の石井吉弘さん（67）は「5年前と比べ、『変わらな』といけない」という危機感を感じられた。（改善を）引き続き訴えていきたい」と話していた。

読売新聞

2013年8月30日

発言者名 議事録不記載／採決時に傍聴者退席

今月の協議も継続審査に